

7/31(木)

【プレトーク】

18:20~18:40

話=小林資典

※本公演と同じお席でお楽しみください。

【開演】19:00

【終演予定】21:00

出演

指揮：小林資典

Motonori Kobayashi, Conductor

ピアノ：菊池洋子*

Yoko Kikuchi, Piano

コンサートマスター：日下紗矢子

Sayako Kusaka, Concertmaster

曲目

ヨハン・シュトラウス2世：喜歌劇『こうもり』序曲

〔9分〕

J. Strauss II: Overture to Operetta "Die Fledermaus"

モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番 二短調 K. 466*

〔30分〕

Mozart: Piano Concerto No. 20 in d minor, K. 466

第1楽章 アレグロ

第2楽章 ロマンツェ

第3楽章 ロンド：アレグロ・アッサイ

— 休憩〔20分〕 —

ヨハン・シュトラウス2世：ワルツ『南国のばら』 op. 388

〔9分〕

J. Strauss II: Rosen aus dem Süden, op. 388

リヒャルト・シュトラウス：歌劇『ばらの騎士』組曲

〔25分〕

R. Strauss: Der Rosenkavalier Suite

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

音楽の都ウィーンの美しき陰影

生誕200年を迎えたワルツ王を軸に展開される

ウィーンゆかりの楽曲の変遷を堪能するプログラム

今年生誕200年を迎えたヨハン・シュトラウス2世（1825～1899）を軸にしたウィーンゆかりのプログラム。ウィーン生まれの数少ない大家であるヨハン・シュトラウス2世の代表作と、ウィーン古典派を象徴するヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756～1791）のエポックメイキングなピアノ協奏曲、ウィーンを題材にしたリヒャルト・シュトラウス（1864～1949）の人気オペラの組曲が交互に披露される。

ウィーナ・オペレッタの華やかで哀感も混えた名序曲

ヨハン・シュトラウス2世：喜歌劇『こうもり』序曲

ヨハン・シュトラウス2世の有名な序曲で幕を開ける。『こうもり』（1874年初演）は、ウィーンの“ワルツ王”のオペレッタ（喜歌劇）第3作。圧倒的な成功を収め、古今の全オペレッタの代表作となった。物語は、舞踏会の帰りに友人からこうもりの扮装のまま置き去りにされて、そのあだ名が付いたファルケ博士の愉快な復讐劇。宴会や様々な交流を豊穡な音楽が盛り上げる。

序曲は劇中の旋律が連なったポプリ（接続曲）風の楽しい作品。元気よく始まり、オーボエの柔らかな旋律、第2幕の6時の鐘の音、第2幕のワルツ、第1～3幕の三重唱等、様々な音楽が登場する。

ピアノ協奏曲の概念を一変させた劇的な逸品

モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番

1781年ウィーンへ移ったモーツァルトは、ピアノと作曲の手腕を同時に発揮できるピアノ協奏曲を意欲的に作曲し、予約演奏会（貴族等から予約を募って開く自主公演）で自ら初演した。同公演は莫大な収入と人気の上昇に大きく貢献。彼は1782～1784年に9つの協奏曲を作曲し、売れっ子ぶりを示している。

しかしモーツァルトのピアノ協奏曲は、1785年に突然、それまでの耳あたりのよい音楽から深遠な世界へ移行する。1785年2月の予約演奏会で初演された本作は、その始まりを告げる1曲。同曲から第27番に至る8つのピアノ協奏曲は、モーツァルトの中でも特別な名作となった。

モーツァルト初の短調を基調とした協奏曲である本作は、デモーニッシュでシンフォニックな迫力を有している。第1、3楽章の厳しさは当時の協奏曲の常識を超えており、清澄さが際立つ第2楽章との対比も鮮やか。こうした曲調はロマン派の先駆けをなしている。なお本作はベートーヴェンが愛奏し、カデンツァも残している（実際の演奏は奏者によって異なる）。

第1楽章は不安げな主題とやや明るめの主題を中心に運ばれる劇的な音楽。**第2楽章**は天国的なまでに美しい長調の緩徐楽章。ただし中間部は短調の激しい音楽となる。**第3楽章**も3つの短調主題が不安感を醸し出すが、最後は明るめの音楽に変わる。

両シュトラウスが描いた「ばら」にまつわる音楽とは？

ヨハン・シュトラウス2世：ワルツ『南国のばら』 リヒャルト・シュトラウス：歌劇『ばらの騎士』組曲

ここからは、両シュトラウス（血縁等の関係はない）の「ばら」にまつわる楽曲が続く。

ヨハン・シュトラウス2世のワルツ『南国のばら』は、ポルトガルを舞台にしたオペレッタ第7作『女王のレースのハンカチーフ』（1880年初演）の旋律を用いた作品。ヨハン・シュトラウス2世に勲章をおくったイタリア国王フンベルト1世に献呈された。曲は、序奏、4つのワルツ、コーダで構成。まさしく南国風の明るく大らかな音楽が展開される。

最後はリヒャルト・シュトラウスの歌劇『ばらの騎士』組曲。1800年代に交響詩の数々で名をなしたリヒャルト・シュトラウスは、1900年以降オペラの創作に注力し、『サロメ』『エレクトラ』と続く凄惨な悲劇で成功を収めた。『ばらの騎士』（1911年初演）は、そんな

彼が一転「モーツァルト風作品」を企図して書いたオペラで、「元帥夫人の火遊びの相手オクタヴィアンが、オックス男爵の婚約者ゾフィーに婚約のしるし＝銀のばらを届ける役割を担うも、2人は愛し合ってしまう……」といった18世紀ウィーンの貴族社会の物語。ワルツを効果的に用いながら、古き良きウィーンへのノスタルジー漂う音楽が繰り広げられる。

この組曲は1945年に指揮者ロジンスキーによって編まれたとされる管弦楽曲。ホルンが際立つ冒頭部分、第2幕のオクタヴィアンとゾフィーの二重唱、オクタヴィアンがばらを手渡す場面の旋律、有名なワルツ、幕切れの三重唱等で構成されており、組曲といっても実際は一種のメドレーになっている。ちなみに、最もウィーン的で甘美な旋律は、ヨハン・シュトラウス2世の弟ヨーゼフ・シュトラウス作のワルツ『ディナミーデン（秘めたる引力）』の引用。この点やモーツァルトを意識した作品の色調に本日のプログラムの関連性が示されている。

Column

全方位のスーパースター、ヨハン・シュトラウス2世

ウィーナ・ワルツの創始者の一人、ヨハン・シュトラウス1世（「ラデツキー行進曲」で有名）を父にもつヨハン・シュトラウス2世は、19歳で自身の楽団を結成して父に対抗。父の死後はその楽団を吸収し、“ワルツ王”として長年活躍した。しかもヨーロッパ各地やロシア、アメリカへ演奏旅行に出向き、ボストンでの演奏会は、1万人のオーケストラ、2万人の歌手、100人の副指揮者を従え、10万人の観客を集めたといわれている。残した作品も500曲以上。弟のヨーゼフ、エドゥアルトも同業に従事し、シュトラウス一家によってウィーナ・ワルツは全盛期を迎えた。

それには、ある年の謝肉祭の夜、772の舞踏会場で20万人（人口の1/2!）が踊り狂っていたというウィーン市民の気質が根底にあるのだが、彼はそうした舞踏会場用のワルツやポルカを、洗練された

コンサートホールの音楽に変えていった。現在の音楽シーンをみればその業績は絶大。他の作曲家や後世への影響力も大きく、例えばチャイコフスキーの「花のワルツ」もヨハン・シュトラウス2世を模範にしているし、ウィーナ・オペレッタは、『メリー・ウィドウ』で知られるレハール等に受け継がれ、引いてはミュージカルの源にもなった。

当時の彼は大衆音楽の作曲家で、今で言うポップス・スター的存在だった。しかし芸術音楽系の巨頭ブラームス、ワーグナーの双方と親交を深めた稀有の人物であり、ワルツ『美しく青きドナウ』を知ったブラームスが「残念ながら私の作品ではない」と語ったとの逸話も残されている。さらには現代音楽の先駆者“新ウィーン楽派”の面々も『南国のばら』を含む諸作を編曲するなど、幅広い支持を集めている。（柴田克彦）

■出演者プロフィール



©Gerardo Garciccano

指揮：**小林資典** Motonori Kobayashi, Conductor

ドイツを拠点に活躍している実力派。1974年千葉県生まれ。東京藝術大学および同大学院、ベルリン芸術大学で学んだ。2000年からライン・ドイツ・オペラでコレペティートル、音楽アシスタント、通奏低音奏者を務めた。2008年ドルトムント歌劇場の専属指揮者となり、2013年から同歌劇場の音楽総監督代理と第1指揮者の任にある。モーツァルト作品をはじめ『ばらの騎士』『アラベラ』『オテロ』『椿姫』『ファルスタッフ』『ピーター・グライムズ』など多彩な演目で成功を収めている。ヴッパータール響やハイルブロン歌劇場などに客演している。日本では大阪響、愛知室内管などに客演。読響とは2021年8月以降、共演を重ねている。



©Nancy Horowitz

ピアノ：**菊池洋子** Yoko Kikuchi, Piano

ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活動している日本を代表するピアニストの一人。2002年にモーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝し、2003年にザルツブルク音楽祭でポルトン指揮ザルツブルク・モーツァルテウム管と共演し、成功を収めた。これまでに国内の主要楽団のほか、ハノーファー北ドイツ放送フィル、フランツ・リスト室内管、グルベンキアン管、スロヴェニア放送響などと共演。室内楽ではライブツィヒ弦楽四重奏団、アフラートゥス・クインテットなどと共演している。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、プラハの春音楽祭、エイラット音楽祭などに出演。第1回上毛芸術文化賞（音楽部門）、第17回出光音楽賞を受賞。

■オーケストラ・プロフィール

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra



【創設】

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。

【指揮者】

セバスティアン・ヴァイグレ（常任指揮者）、ユライ・ヴァルチュハ（首席客演指揮者）、鈴木優人（指揮者／クリエイティブ・パートナー）、シルヴァン・カンブルラン（桂冠指揮者）、尾高忠明（名誉客演指揮者）、小林研一郎（特別客演指揮者）

【ホーム・コンサート・ホール】

サントリーホール、東京芸術劇場、横浜みなとみらいホール

【楽団ウェブサイト】

<https://yomikyo.or.jp/>

サマーミュージア特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージア
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

- ほぼ日刊サマーミュージアに感想が載るかも？！
- <https://gws-net.com/summermuza2025/> →



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
- 開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージア川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

<p>法人</p> <p>【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 キャノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェフト株式会社 三井不動産グループ</p>	<p>【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会</p>	<p>公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファーズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ</p>	<p>セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シイ 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎</p>	<p>ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーソリューションズ * 大宮町町内会 他3法人</p> <p>【わくわくミュージア法人サポーター】 稲毛神社 おつけもの慶</p>
---	--	--	---	---

<p>個人</p> <p>阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敏昭 宇佐美清一</p>	<p>遠藤智和 大越麻美子 大須賀徳也 大塚具幸 岡垣克則</p>	<p>小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小倉ヒロ・ミハエル 小野洋彰</p>	<p>金山直樹 喜多紘一 木伏源太 久住映子 小菅みつほ</p>	<p>国府保周 後藤 実 小林知子 佐伯 昇 佐藤晴茂</p>	<p>佐藤義寛 新保和浩 杉山弘子 鈴木甚郎 鈴木 徹</p>	<p>高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子</p>	<p>西 洋子 西山英昭 長谷川喜代江 林 直人 廣瀬治昇</p>	<p>藤嶋とみ子 堀江智巳 前田 泉 松嶋邦生 山内利夫</p>	<p>山下啓史 山田昌克 D.Y K.O M.C</p>	<p>N.A T.Y 他匿名16名 敬称略五十音順</p>
--	---	---	--	---	---	--	---	--	--	---

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。